

私のすすめるこの1冊

江崎 俊光 (理事・事務局長)

『日本の名作 出だしの一文』

樋口裕一 (著)

筆者は、現在多摩大学経営情報学部教授として教鞭を執る傍ら、フランス語で書かれたアフリカ文学などの翻訳家、そして250万部を超えるベストセラーとなった『頭がいい人、悪い人の話し方』などの一般書の作家、更に「樋口式小論文」という方式の受験参考書の執筆者などとして、多数の著作を刊行しておられます。皆さんの中には、「樋口式小論文」の参考書で「小論文はYESかNOを答える文章である。小論文は問題提起、意見提示、展開、結論の四部構成で書け」との筆者の主張に触れられた方もおられると思います。

今回、紹介する本は、このような小論文指導のノウハウを応用した形で書かれた一般書の中の一つです。筆者のブログでは、「漱石、芥川、太宰などの出だしの一文の意味、効果を分かりやすく分析し、それを一般のビジネスパーソンが日常生活で言葉を使うときにも応用できるように解説している。日本を代表する名作や私の愛する佳作のあらすじも加えている。」と紹介しています。なお、この本の作りとしては、まず、日本を代表する名作の冒頭部分を紹介し、そして何故それが名文なのか、或いは効果的なのかということ解説した上で、更に簡潔な言葉で作品のあらすじが書かれています。

一般的に、作家は、自分の作品を読んでもらわないと困るため、まず冒頭で読者の興味を引きつけ、先に誘導することが重要であり、冒頭部分に作家の真剣な思いを載せるとともに、様々な工夫を凝らしています。今回取り上げられているのは、「日本を代表する名作」ですが、冒頭部分の描き方に一定の法則はありませんが、いずれも作家の個性や思い、そして工夫が詰まっています。是非、その思いや、工夫を感じ取ってもらえればと思います。

さて、私はこの本の中で、近代文学に新しい桜観をもたらしたといわれる梶井基次郎氏の短編小説『桜の樹の下には』の出だしの一文「桜の樹の下には屍体が埋まってい

る！」の解説が秀逸だなと感じさせられました。筆者（樋口氏）は、「桜を不気味だと感じたことがある人は少ないだろう、この世のものとは思えない美しさと怪しさを秘めた樹木だ。おそらく日本人なら薄々皆がそう感じている。そして、誰もが薄々感じている不気味さを我々は見てみないふりをしてきた。それを梶井基次郎はとてつもなく鋭い観察眼で「桜の下には屍体が埋まっている」と言い切った。」とし、更に、「＜屍体が埋まっている＞という発見は、当然ながら「死」を連想させる。その根底には、作者自身が抱いていた存在の不安があるように感じる。生きていることに対する恐れがデフォルメされた形で表現されたのが冒頭の言葉である。」と述べています。

そして、「＜桜の樹の下には屍体が埋まっている！＞、この一文で桜の見方は完璧に変わる。樹の下に屍体が埋まっていると考えれば、あの花の色にも納得がいく。そして、はかなさや刹那の美学といった、桜に対する極めて日本的な考え方や、これまで信じてきた日本文化そのものに対し、「実は嘘かもしれない――」と思い巡らすようになる。価値観さえ揺るがされる。強烈な冒頭と言えらるだろう。」と結んでいます。

なお、このように冒頭に強いメッセージを出すことで名作と呼ばれる手法は、西洋文学の作品（例えば『アンナ・カレーニナ』『アデン・アラビア』）にも多く使われていると解説していますので、これらも一読してもらえればと思います。

今回紹介した本は、教科書にも数多く掲載されている「日本の名作」が取り上げられており、今後、再び触れる機会があるのではと思います。そんなとき、この本により「作家が熱意と工夫」を持って、「出だしの一文」を考え出したという知識を活用し、指導の幅を広げられるよう祈念し、結びと致します。

夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月26日（木）～9月18日（火）
院生・教職員：7月12日（木）～9月4日（火）
【返却期限日】10月3日（水）
※卒業・修了予定者は9月10日（月）まで

有効期限の延長について

2018年9月末で本学を修了する予定の方（科目等履修生・研究生・特別聴講生を含む）は、貸出可能な有効期限が9月10日（月）までとなっているため、返却期限日も9月10日（月）になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。

ただし、9月10日（月）以降も研究を継続する場合に限り、有効期限を9月29日（土）まで延長することが可能です。カウンターにて手続きして下さい。なお、図書館への入館・閲覧については、手続き不要です。（9月29日（土）まで利用可能）

職場体験終了報告

2018年8月6日（月）～8日（水）にかけて、附属特別支援学校から職場体験実習の生徒を2名受け入れました。カウンターでの貸出・返却業務などを体験してもらいました。みなさま、ご協力いただきありがとうございました。

雑誌の製本作業について

8月から10月中旬（予定）まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2016年～2017年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。製本後はすべて西館3階（書庫）に並べますので、そちらをご利用ください。
※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

学修相談カウンター

9月はお休みですが、10月に再開します！

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？



どんどん利用してください！

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！

●リクエストは随時受け付けています

- 学習研究目的のものは原則として購入します。
- 学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受け付けた分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。※結果によっては購入できないこともあります。

9月の投票期間は

9月14日（金）～9月29日（土）です。

※図書館1階渡り廊下・北館2階研修セミナー室前に展示しています。

読みたい本に
投票しよう！
(1日1ポイントまで)



企画展示室（北館 1 階）

博物館学概論企画展

「コレクション×コレクション vol.2」
（山内朋樹 先生）

7月28日（土）～8月3日（金）まで、授業の受講生による展示が開催されました。



松ぼっくりなど面白いアイデアの展示をされていました。みなさんも、どんどん企画展示室を利用してくださいね！



ART×FUM 作品展

8月2日（木）～8月7日（火）まで、美術領域の学生による作品展が開催されました。



児童書コーナー（南館 1 階）

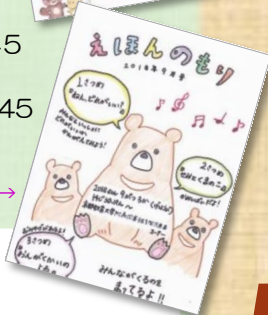
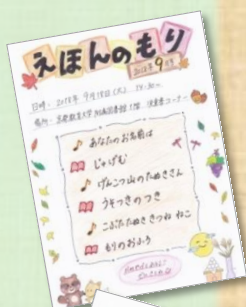


学生による絵本のよみきかせ

※2018年9月～2019年3月は
開始時間が14:30～に変更となりました。

- ★9月3日（月）14:30～14:45
『ねえ、どれがいい？』他
- ★9月18日（火）14:30～14:45
『じゅげむ』他

学生作のチラシ→



今月の絵本カード（学生作）

『パパ、お月さまとって！』

作：エリック カール 訳：もり ひさし
出版社：偕成社



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

＜お知らせ＞教育資料館夏季臨時休館について
企画展等準備につき、
平成30年8月1日（水）～11月2日（金）は
休館しています。

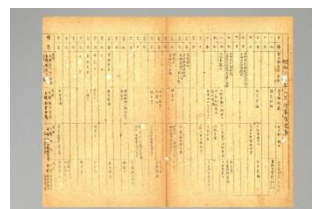
教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品（8・9月）

「学校長通達綴（終戦月の予定表）」

※休館中のため、附属図書館で展示しています。

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

京都教育大学紀要(大学発行の学術雑誌)に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **田爪 宏二**(教育学科 准教授)

4年制大学における保育実習の体験および就業意識における保育者効力感の影響 — 実習の進行による変化 —

田爪 宏二

京都教育大学紀要. 2018, No. 132, pp. 33-45.

本論文では、保育者(幼稚園教諭、保育士)の養成を主とする4年制大学の3年生を対象に行った質問紙調査の分析結果を報告しています。養成課程の中で、保育者としての資質の確立や将来の職業選択において影響の大きいものの1つに、保育実習や教育実習が挙げられます。実習を通して保育者としての自信を得たり、反対に自信を喪失したりすることも多いと思われます。そして、実習の成否にかかわる大きな心理的要因として、自分自身が保育者としてどの程度の活動ができるのかについての認識、すなわち保育者効力感が挙げられます。そこで、保育者効力感が実習の経験(実習で感じた不安、保育者観、保育観の変化)、さらには就業意識に及ぼす影響について検討しました。さらに、実習の進行に伴う影響の変化についても検討しました。

分析の結果、主に以下の点が明らかになりました。まず、①実習の進行に伴い、保育者効力感は向上し、実習に対する不安は低下していました。保育者効力感と実習経験との関係については、②対人場面の効力感が高い学生ほど実習の態度面における不安が高く、③保育者効力感の低い学生は、保育者のイメージが大きく変化していました。そして、保育者効力感と実習経験との関係については、④保育の計画や運営に対する効力感が低い学生は、就業において社会的地位への志向が強いということが分かりました。

近年の幼児教育、保育に対するニーズの高まりを反映して、保育者には高い資質が求められています。本研究の結果は、大学において学生の特性を踏まえながらいかに質の高い保育者を養成するかという問題に対する知見を含むものです。そして、本論文のテーマは、本学における教員養成に対して示唆を与えるものであると考えられます。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 132号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2018年9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

9/5 館内整理日
9/15 大学院入試

2018年10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

10/1 後期授業開始
10/13 編入学試験

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<http://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.216(2018年9月号)

発行日:平成30年9月3日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

